

2009年度

科目名	国語科授業研究		
担当教員	土山 和久		
配当	日文2・教福3	コード	42160
開期	通年	講時	木曜日2限
		単位数	4
授業テーマ	高等学校・中学校における国語科授業の構想 ―現代における国語学習のモデルチェンジ―		
目的と概要	近年の様々な教育改革は、国語科教育にもその本質的な変更を要求しています。本授業では、高等学校あるいは中学校における国語科教育の今日的課題を確認・検討し、授業構想の基本的能力に培うとともに、これからの国語科教育実践の進むべき方向を考究することを目的とします。受講者の積極的な作業参加を通して、国語科授業実践力を鍛錬する場になることも期待します。		
成績評価法	レポート・課題提出、授業での発表活動、期末レポート(前後期各1回)から総合的に評価する。		
テキスト	特に定めない。授業に必要な資料は、その都度プリントの形で配布する。		
参考書	授業の中で、随時、呈示する。		
履修に当たっての注意・助言	本講義は受講生の参加を重視するため、かなりハードなものとなることが予想されます。作業活動およびレポート作成に積極的に参加できる受講生を強く求めます。		
講義計画			
<p>前期:前期は学習指導要領の改訂を踏まえながら国語科教育の今日的課題を確認した上で、書くことの学習指導に焦点を絞ります。受講者にも活動に積極的に参加してもらい、書くことの学習指導の要点を体感すると同時に、学習者主体の授業がいかに関与するのか、授業論のレベルでも考究してもらいたい。</p> <p>1回 :問題設定;国語科教育の今日的課題 2回 :国語教育と創造性 3回 :クリエイティブ・ライティングの基本的特質 4回 :クリエイティブ・ライティングの入門的プログラム 5回 :コトバを用いた交流プログラム その1 6回 :コトバを用いた交流プログラム その2 7回 :コトバを用いて遊ぶプログラム その1 8回 :コトバを用いて遊ぶプログラム その2 9回 :自己表出のプログラム その1 10回:自己表出のプログラム その2 11回:周囲の世界を観察するプログラム その1 12回:周囲の世界を観察するプログラム その2 13回:工房体験レポート発表 その1 14回:工房体験レポート発表 その2 15回:前期のまとめ</p> <p>後期:後期は読むことの学習指導を中心に取り上げます。従来の読解重視型・主題追求型の授業を超える新しい(文学の)授業スタイル(行為―生産志向的文学教育)を提案し、前期と同じく受講者の試行を通して、その実践的可能性を考察します。</p> <p>1回 :問題設定 文学の授業における方法の複数性 2回 :三読法の模擬授業 3回 :三読法の理論的特質 4回 :一読総合法の模擬授業 5回 :一読総合法の理論的特質 6回 :分析批評の模擬授業 7回 :分析批評の理論的特質 8回 :読者論の模擬授業 9回 :読者論の理論的特質 10回:文学の授業における生産的方法 その1 修復・復元法① 11回:文学の授業における生産的方法 その2 修復・復元法② 12回:文学の授業における生産的方法 その3 変形法① 13回:文学の授業における生産的方法 その4 変形法② 14回:生産的方法と国語科メディア教育 15回:後期のまとめ</p>			